

2021年12月9日
株式会社スプリックス

世界 15 か国、累計 60,000 人以上が受検
国際基礎学力検定「TOFAS」第 4 回を 2022 年 1 月 25 日(火)より実施
～東京都港区・豊島区、新潟県長岡市など公教育機関でも続々導入～

株式会社スプリックス（本部：東京都豊島区／代表取締役社長：常石博之）は、国際基礎学力検定「TOFAS（Test of Fundamental Academic Skills）」の第 4 回検定を、2022 年 1 月 25 日(火)より、受検料無料にて実施いたします。本検定はインターネットを介して自宅から受検することができ、「計算」「英単語」「漢字・語い」の 3 科目が対象となります。第 4 回では、これまでを上回る世界 20 か国からの参加を見込んでおります。

「TOFAS」公式 Web サイト：<https://tofas.education/jp>

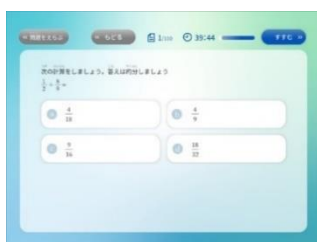
Measure your potential



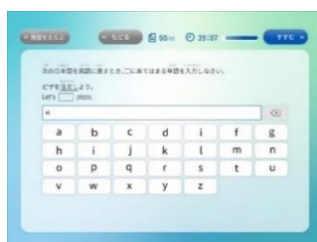
国際基準で基礎学力を正しく測ることができる TOFAS の受検者数は、世界 15 か国累計 60,000 人を超えました。日本国内では、基礎学力の重要性が再認識されていることを背景に、東京都港区・豊島区、新潟県長岡市などの公教育機関においても続々と導入が進んでいます。

第 4 回を迎える今回は、受検者数の急増を踏まえ、全体システムを抜本的に改修しています。具体的には、お申込みフローを大幅に見直し、テスト画面のデザインを一新いたしました。また、結果表および合格証（サティフィケート）も、受検された方々のフィードバックを反映するかたちでリニューアルいたしました。

一実際のテスト画面



計算



英単語

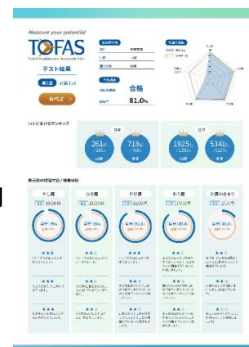


漢字・語い

一テスト結果表イメージ

受検後の結果表は、合否だけでなく、科目全体・単元ごとの正答率、どこでつまづいてしまっているか、などの詳細な分析結果まで表示しているため、その後の学習計画に役立てることができ、学力を効果的に伸ばすための指標として活用できます。

また、各レベルにおけるランキング結果を、対国内・対世界の双方から示しています。日本国内だけでなく、世界基準で基礎学力を測ることができる点においても、TOFAS は国内外から高い評価を頂戴しています。



1. TOFAS とは

国際基準で基礎学力を「評価」することができる TOFAS の主な特徴は以下となります。

(1) 基礎に特化した学力の「評価」ができる

全ての学力の土台となる基礎学力は、教育を受ける子どもたちの環境が大きく変わろうとしている今、高い注目を集めています。TOFAS は、基礎に特化し学力を正しく「評価」します。

(2) 世界規模で基礎学力の「比較」ができる

世界 11 か国の保護者のうち 75%*は「グローバルに学力を測定できる仕組みがあれば利用したい」と回答しています。日本を含む世界 20 か国で実施する TOFAS は世界規模での基礎学力の「比較」が可能です。

*スプリックス基礎学力研究所「世界 11 か国において子ども・保護者を対象に学習に関する「意識調査」」（2020 年 8 月・9 月実施）

(3) 一人ひとりの基礎学力定着に必要な「のびしろ」が分かる

TOFAS は、正答率や合否結果に加え、受検データを分析し学力向上に必要な「のびしろ」をフィードバックします。分析結果を一人ひとり個別に可視化することで、基礎学力の確実な定着につなげていきます。

2. TOFAS 第 3 回検定の結果

第 3 回は、日本を含む 15 か国、のべ約 30,000 名が受検し、第 2 回の受検者数を大きく上回る結果となりました。国内においては小学校や中学校でも導入が進むなど、公教育の場でも高い注目を集めています。

(1) TOFAS 第 3 回実施国

日本・アメリカ・インド・インドネシア・オーストラリア・カナダ・シンガポール・タイ・フィリピン・ベトナム・マレーシア
ミャンマー・香港・台湾・エジプト

(2) 日本の公教育における導入

TOFAS は個人受検のみならず、日本の小学校や中学校といった公教育の場でも導入が進んでいます。GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末の整備が進んだ学校現場において、従来の紙のテストに代わる CBT（Computer Based Testing）方式のテストとして TOFAS が活用されています。東京都港区・豊島区、新潟県長岡市などからは、作問や採点において教員の負荷軽減になること、細かい分析による可視化で授業改善の指標にできることなど、指導側のメリットが大きいとの声を頂戴しています。



池袋小学校での実施様子



1 人 1 台端末を活用し受検

3. TOFAS 第 4 回検定の概要

TOFAS 第 4 回検定の実施概要は以下となります。

(1) 受検日・時間

2022 年 1 月 25 日(火) ～ 2022 年 1 月 31 日(月)

(2) 申込期間

2021 年 12 月 7 日(火) より開始予定

(3) 基本情報

対象科目：計算、英単語、漢字・語い

検定時間：各 40 分

合格ライン：正答率 80%以上

出題形式：回答選択方式（一部、回答入力方式および回答書き込み方式）

必要な物：PC またはタブレット、受検情報が示されたメール、計算用紙、筆記用具
（漢字・語い、はタブレットおよびタブレットに対応したペンが必要）

受検結果：受検日の 10 日後以降にメールを配信。Web 上で結果の閲覧が可能
：合格者には合格証（サーティフィケート）をデータにて発行

(4) レベル別詳細

計算

レベル	履修学年の目安	出題範囲
4	中 3 までの内容	展開・因数分解・平方根・二次方程式 まで
3	中 2 までの内容	正負の数・多項式・一次方程式・連立方程式 まで
2	小 6 までの内容	分数・小数のたし算・ひき算・かけ算・わり算 まで
1	小 4 までの内容	整数のたし算・ひき算・かけ算・わり算 まで

英単語

レベル	履修学年の目安
4	中 3 までの内容
3	中 2 までの内容
2	中 1 までの内容
1	小 6 までの内容

漢字・語い

レベル	履修学年の目安
4	中 3 までの内容
3	中 2 までの内容
2	小 6 までの内容
1	小 4 までの内容

(5) 申込方法

「TOFAS」公式 Web サイト (<https://tofas.education/jp>) よりお申込みいただけます。

申し込みページにてメールアドレスを入力後、フローに従い必要情報を登録、受検日やレベルを選択すると申し込みが完了いたします。

【スプリックス基礎学力研究所 概要】

スプリックス基礎学力研究所は、「基礎学力」にフォーカスするカタチで、「子どもたちの学力を正しく評価し、着実に定着させること」を目的に創設いたしました。日本のみならず、世界中の子どもたちに「基礎学力」を定着させるべく、研究および開発を進めていくことをミッションとしている研究所です。

代表者 : 所長 梅田 修平

URL : <https://tof.as.education.jp/lab/>

公式 SNS : Twitter <https://twitter.com/SprixBasri>

Facebook <https://www.facebook.com/SprixBasri>

【株式会社スプリックス 概要】

名称 : 株式会社スプリックス

本社 : 東京都豊島区西池袋 1-11-1 メトロポリタンプラザビル 12F

代表者 : 代表取締役社長 常石 博之

URL : <https://sprix.jp/>

本件に関する問い合わせ先

株式会社スプリックス

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-11-1 メトロポリタンプラザビル 12F

TEL : 03-5927-1681 Mail : info@sprix.jp